

地球の子ども通信

Children's Communication on Earth

2019. 冬号



第 51 回地球の子ども通信国際交流事業より
ラオスの子ども達、引率者と共に

寒い日々が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、お元気で過ごしのことと存じます。皆様のご協力のもと、継続的に地球の子ども通信活動が運営されております事、心より感謝申し上げます。

「CCE だより 2019 冬号」が出来上がりましたのでお送り致します。
今回は、この一年間に行われた事業「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」報告、外国からの訪問者紹介、そして2019年に行われます第52回国際交流事業「被災地訪問から学ぶこと、共に助け合うこと、未来に活かすこと Part II」についてお知らせ致します。

嬉しい報告としましては、「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」事業をきっかけに、地球の子ども通信 青年部会が発足したことです。メンバーは5名で、小、中学生時代に、CCE ホームステイプログラム事業に参加した若者達で構成されております。自分たちの体験をもとに、これからの CCE 活動を、開かれた世界観を持って、事業展開できる頼もしい力となることを彼らに期待しています。

これからも、子ども達の未来のために、皆様のお力添えを賜りたく宜しくお願い申し上げます。

2019年2月吉日
会長 芳賀節子

《これからの事業予定》

第52回地球の子ども通信国際交流事業

「被災地訪問から学ぶこと、共に助け合うこと、未来に活かすこと Part II」

日程：平成31年6月28日（金）～7月8日（月）

参加者：インドネシア 中学生12名 引率者2名 計14名

後援：駐日インドネシア共和国大使館(*)

宮城県(*) 仙台市(*) 宮城県教育委員会(*) 仙台市教育委員会(*)

(公財)宮城県国際化協会(*) (公財)仙台観光国際協会(*) 鳴子国際交流協会(*)

NHK仙台放送局(*) 河北新報社(*) 朝日新聞仙台総局(*) TBC東北放送(*)

助成：(公財)未来の東北博覧会記念国際交流基金(*) (*)：予定

* インドネシアの子ども達 ホストファミリー募集中!!

ホストファミリー希望の方は、別紙申込用紙にご記入の上事務局まで郵送、FAX、メールにて申し込んで下さい。

合わせて、事業の手伝い(パーティの準備、料理、又引率としての参加など)希望者を募っています。協力して下さる方は事務局にご連絡下さい。

事務局 / Tel.Fax022-376-5382 e-mail nra55237@nifty.com

* 事業資金カンパ、広告協賛のご協力をお願い致します

会員の皆様には重ねてのお願いで恐縮ですが、事業実施に向けて資金カンパを募っております。一口1,000円からです。納入先は会費同様です。

又、広告協賛のご協力もお願いしております。皆様のご協力をお願い致します。

<11日間プログラム>

月 日	内 容 予 定
6月28日(金)	インドネシアの子ども達仙台駅到着 / ホストファミリーと引き合わせ 18:30 ウェルカムパーティ (仙台銀行ホール イズミティ21・展示室) ウェルカムセレモニー 文化交流会(インドネシアの子ども達による文化紹介・箏ワークショップ)
6月29日(土)	被災地訪問 震災遺構気仙沼市向洋高等学校・伝承館 石巻市大川小学校 (被災時の話を聞く)
6月30日(日)	午前 インドネシア、日本の子ども達による文化交流会(鳴子川渡) 文化交流会・昼食交流会・温泉体験 午後 仙台市内見学
7月1日(月)	午前 被災地 松島訪問 勉強会ー被災体験を聞くー”陸と海と”津波によって変化した海の中の生態系など 遊覧船にて島巡り・足湯体験 午後 茶道ワークショップ
7月2日(火)	午前 小学校訪問 授業体験・給食体験 午後 宮城県知事表敬訪問(予定)
7月3日(水)	午前 学校訪問(学校法人朴沢学園明成高等学校) 授業体験(介護福祉体験、調理科体験)・昼食交流会 午後 仙台市松森工場ごみ焼却施設見学(環境問題とごみ分別について学ぶ)
7月4日(木)	午前 仙台市天文台見学 午後 山形蔵王へ 「子ども達による体験発表」(被災地訪問で学んだこと) 日本文化体験(着物体験・こけし作り・「よさこいソーラン」ワークショップ) (山形蔵王ドック沼泊)
7月5日(金)	午前 ハイキング 午後 仙台に戻る 18:30 フェアウェルパーティ(仙台銀行ホールイズミティ21展示室) フェアウェルセレモニー・ホストファミリーとパフォーマンス
7月6日(土)	世界遺産平泉訪問 中尊寺・毛越寺見学
7月7日(日)	フリーデー 仙台出発(夜行バスにて)
7月8日(月)	インドネシアの子ども達帰国

CCE勉強会「インドネシアについて」

地球の子ども通信では、インドネシアの子ども達との交流事業に向けて、下記の様に勉強会を行います。インドネシアについて大人も子どもも一緒に学んでみませんか？是非参加して下さい。

日 時 平成31年3月31日(日)午前10時～

会 場 仙台市桂市民センター・第一会議室

第51回地球の子ども通信国際交流事業 「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」

第51回国際交流事業として「ラオスの子ども達の仙台ホームステイプログラム」を下記のように実施致しました。ラオスの子ども達との交流事業は7回目となりました。今回の11日間プログラムは、宮城県知事表敬訪問、学校訪問、被災地見学、世界遺産平泉訪問、雪体験などに加え、CCE青年部会が企画運営を担当する子ども達による文化交流会（鳴子川渡）を行いました。詳細は下記の通りです。

日程：平成30年11月30日（金）～12月10日（月）

参加者：Lao Youth Union（ラオス外務省青年協会）

小学生・中学生 10名

引率者 3名 計13名

後援：駐日ラオス人民民主共和国大使館(*)

宮城県 仙台市 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

(公財)宮城県国際化協会 (公財)仙台観光国際協会 鳴子国際交流協会

NHK仙台放送局 河北新報社 朝日新聞仙台総局 TBC東北放送

助成：(公財)未来の東北博覧会記念国際交流基金

<11日間プログラム>

月 日	内 容
11/30(金)	ラオスの子ども達来仙 ホストファミリーと引き合わせ 18:30 ウェルカムパーティ (仙台銀行ホール イズミティ 21・展示室) ウェルカムセレモニー・文化交流
12/1(土)	世界遺産平泉訪問 中尊寺・毛越寺
12/2(日)	ラオス、日本の子ども達による文化交流会（鳴子）
12/3(月)	午前 小学校訪問（仙台市立高森小学校） 午後 宮城県知事表敬訪問
12/4(火)	午前 仙台市松森工場ごみ焼却施設見学（環境問題とごみ分別について学ぶ） 午後 被災地 松島訪問 勉強会－被災体験を聞く－ ・遊覧船にて島巡り ・足湯体験
12/5(水)	午前 学校訪問（学校法人朴沢学園明成高等学校） 午後 被災地訪問 震災遺構仙台市立荒浜小学校見学
12/6(木)	午前 山形蔵王へ 午後 日本文化体験（こけし作り・着物体験） (山形蔵王ドック沼泊)
12/7(金)	午前 雪・スキー体験 午後 仙台に戻る 茶道体験
12/8(土)	フリータイム —ホストファミリーと共に— 17:30 フェアウェルパーティ (仙台市泉区将監コミュニティセンター) フェアウェルセレモニー・ホストファミリーとパフォーマンス
12/9(日)	フリーデー —ホストファミリーと共に— 仙台出発（夜行バスにて）
12/10(月)	ラオスの子ども達帰国

《活動終了報告》

平成30年度「地球の子ども通信総会」

平成30年5月26日（土）日立システムズホール仙台研修室2において平成30年度地球の子ども通信総会が執り行われました。当日は、会員総数102名のうち当日参加16名、委任状40名、総数56名で過半数を満たし総会が成立致しました。会長挨拶後、以下の内容について報告がなされ、全ての議事が承認されました。

議事内容 平成29年度 活動報告、収支決算報告並びに監査報告
 平成30年度 事業計画案、予算案、役員改選について

<会長挨拶より>

会員の皆様の積極的な協力体制をもとに、カンボジア単独プログラムなどこの一年つつがなく計画通り実施できたことと、活動運営費のご協力など、会員の皆様に感謝と共にお礼を申し上げたい。

経済状況は、広告収入、会員収入が年々減っているのが厳しい。ボランティアに参加する留学生も減ってきている中、カンボジアのモロコットさんは、カンボジア事業で通訳として活躍。又、新たにロシアからの留学生も参加した。次年度は、日本の子ども達が海外になかなか出て行かないので、日本の子ども達の視野を拓け元気な力を育みたい。

「第27回 CCE まつり」

総会終了後、同会場において「第27回CCEまつり」を行いました。今回は、「アジアの子ども達との交流から生まれたもの」をテーマに芳賀会長と、CCE発足当初から長年に亘りご尽力頂いてきたティオ先生（シンガポール・ノースランドプライマリースクールの校長、SISシンガポールインターナショナルスクールイン香港を歴任）をお迎えして、講演をして頂きました。。

又、小学生時代にシンガポール、香港などでホームステイ事業体験をした村上千紗都さん（19歳）、鈴木風子さん（20歳）、今野耕嗣君（21歳）が体験を通して学んだことを発表。原直也君（20歳）の昨年12月第50回国際交流事業カンボジアの子ども達の仙台ホームステイプログラムに参加した感想文が披露されました。

その後、旭ヶ丘市民センターに会場を移し、ランチパーティ、フラメンコギター&箏コンサートが行われました。コンサートでは、今回初めてフラメンコギターと箏とのコラボレーションによる“ふるさと” “さくら” “花嫁人形” “上を向いて歩こう” が演奏されました。参加者は、ギターと箏のコラボレーションによってかもし出された音色にすっかり魅了され、盛会のうちに「CCEまつり」が終了しました。



CCE まつり

芳賀会長 スピーチ 内容(抜粋より)

本日、ここに Mrs. Sally Thio 先生をお迎えし、これまでの 27 年間の地球の子ども通信活動を振り返りつつ、今後のホームステイプログラム活動について、話し合い共有できますことを、心から感謝申し上げます。

CCE 設立のきっかけとなったのは、東北大学のシンガポールからの留学生、Mr . Soh Choon Min 氏 との出会いがきっかけとなりました。彼は、小さな幼稚園の子ども達、そこの卒園生に、シンガポールの手遊びや、英語など、多くの楽しい時間を与えてくれました。このようなことから、子ども達の国際交流が始まりました。

優しかったお兄さんがシンガポールに帰国後、子ども達はお兄さんの国に興味を示し、お兄さんに会いに行きたい気持ちを実現させることとなりました。

多民族国家で、様々な文化に触れる絶好の機会、そして何よりも安全に子ども達が訪問できる国である事が、この計画を実行させた理由のひとつでした。

こうして 1991 年、ノースランドプライマリースクール訪問が実現しました。その時の校長先生が、Mrs Thio 先生でした。当時、日本でしたら、外国の子ども達を受け入れる学校は、どれくらいあったのでしょうか？受け入れるとしても、その手続きに時間や、書類の提出など大変な作業があったに違いありません。Sally 先生は、オープンに、大歓迎してくださったのです。

Sally 先生との出会いは、CCE とシンガポールの子ども達の、ホームステイプログラムに事業をスムーズに展開でき、継続交流を進める大きな力となって下さったのです。大変素晴らしい、出会いとなりました。この 27 年間、国を超えた交流は、子ども達の友情交流を育んだだけでなく、私達大人も世界観を広げる事ができたことを、改めて実感しております。

現在は、シンガポールだけではなく、インドネシア、カンボジア、ラオス、香港 そして、アメリカニューヨーク州立大学の学生との交流を行なってきました。

子ども達が、安全により良い交流が育めるために、私も、Sally 先生も縁の下の力持ちの役割を、受け持ってきた交流事業の歴史です。

私達は、親友となり現在も交流が続いております。Mr Soh を 始めとし、人と人との出会いと繋がりが、文化や習慣の違いを超え、この地球で共に生きる人としての理解につながることを。それぞれの国には、訪問してみなければ分からないことが沢山あります。風や陽の光、食べ物の匂い、ホストファミリーに抱きしめられた温かさ、愛された実感などなど、子ども達に伝えていければと願っています。

ありがとうございました。

(続く……………)

CCE まつり

Mrs .Sally Thio スピーチ内容 (抜粋より)

CCE の イベントに参加できることを、大変嬉しく思っております。

私と CCE の関わりはとても古く、1990 年からずっと続いています。その当時、私と芳賀会長はとても若く、勇気がありました。今は、二人とも白髪もしわも増えましたが、まだまだエネルギーを、とてもたくさん持っています。

現在、CCE は 27 年間にわたり、このアクティブな交流プログラムを続けてきましたが、これは実に、とても長い年月だと思います。毎年毎年 CCE が展開してきたことは、とてつもない、エネルギーと時間と努力がなければ達成できない事です。

努力を伴わない天才は、何もできない、又、しっかりとした方向性を持たない情熱は、どこにも到達できない、との言葉があります。CCE が成長していくのを見てきた者として、こうした年月、CCE の運営に携わってきた中心的なスタッフ、多くの支援者に、心からの敬意を表したいと思います。もちろん、CCE を動かしてきた最も重要な推進力、ドライビングホースは、芳賀節子さんです。彼女なしでは、これは私の考えですが、彼女の情熱と、インスピレーション溢れたリーダーシップなしには、今日の CCE は存在しなかったでしょう。

2016 年に宮城県文化の日表彰「国際交流団体功労賞」叙勲を受けたこと、心よりお祝い申し上げます。この賞は、長い年月にわたる不屈の努力の賜物で、この賞に値する団体です。

ありがとうございました。



Mrs. Selly Thio と一緒に

TOFUSA festival 『東北大学留学生祭りに参加しました』

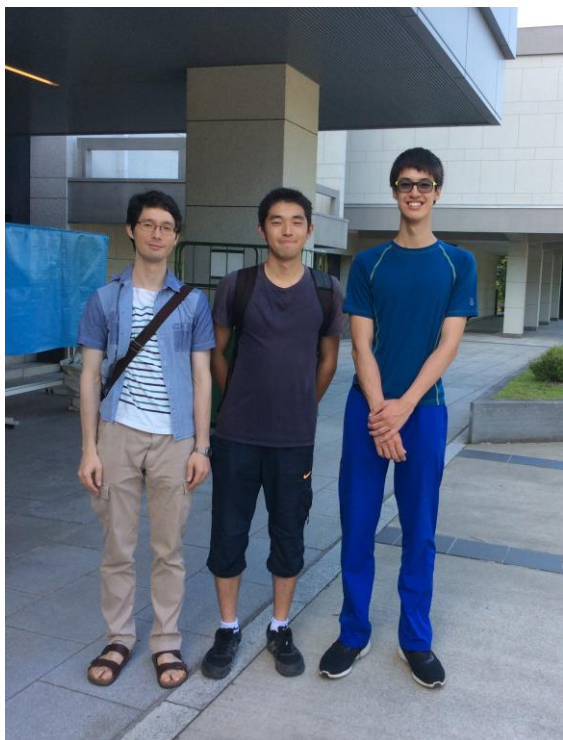
2018年7月1日 東北大学萩ホール広場で行われた留学生祭りに、CCEも参加しました。CCEは、1992年活動開始から現在まで50回の子どもの交流事業の活動を、パネル展示して紹介しました。

様々な国の留学生によるブースでは、自国の文化や食べ物、伝統芸能などの紹介で盛り上がっていました。

2009年に仙台ホームステイ事業に参加し、現在ロンドンの高校に通っている Timothy 君も偶然お祭りに参加出来、自らの体験を通してCCEの交流事業について宣伝してくれました。力強いボランティアメンバーとして活躍してくれました。

CCEの参加者は、会長 理事 5人と青年部会(菅原良、村上千紗都、原直也)の皆さん。

様々な文化に触れる貴重な機会となりました。留学生や、会場を訪れた方々との話も弾み、楽しい一日を過ごしました。



東北大学留学生祭り 萩ホール前にて



ティモシー君親子と一緒に 鬼首にて



中尊寺の歴史に大変興味をもっていたティモシー君

「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」のために 様々な活動を行いました

「 せんだい地球フェスタ 2018 」に出展しました。

地球の子ども通信は、平成30年9月17日（月/敬老の日）10:00～16:00仙台国際センター展示棟で行われた「せんだい地球フェスタ 2018」（主催：せんだい地球フェスタ実行委員会）に今年も出展しました。当日は、6名のCCE理事、会員が参加し、国際交流活動紹介とチャリティバザーを行いました。

今年の地球フェスタテーマは「文化を超えて、国境を越えて、私達はひとつ」で、仙台市内57グループ（国際交流団体、ステージ発表、食品販売など）が出展しました。ステージ発表では秋保（仙台市青葉区）の田植え踊りの他、各国の民族舞踊が披露されました。

又、クイズ形式で出展団体を探すスタンプラリーが行われ、「地球の子ども通信」を探しあてた来場者の方々と触れ合いながら、活動紹介をすることができました。

年々市民ボランティアグループの参加が少なくなっていることや、食品販売業者の占める割合が多いことは大変残念で、来年度に向けて改善されることを願った「地球フェスタ 2018」でした。

「 CCEわくわくチャリティバザール 」開催

CCE
わくわくチャリティバザール

CCEは子ども達のための国際交流ボランティア
ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラムのために

バザーコーナー
食器・衣類
おいしいリンジ、新鮮野菜
など、など

喫茶コーナー
めずらしい青いお茶
(パタライピ-の花)で
ホッとひと見!!
おいしいお菓子もあります

ミニコンサート
村上千紗都さん(宮城大一年)
による“ファゴット”演奏

ラオスのパシユミナストル
カンボジアのワロー

2018年10月8日(月祝) 1:00pm~4:00pm
日立システムズホール(仙台)・交流ホール
(仙台市青年文化センター 仙台市青葉区九郎七丘)

主催 **地球の子ども通信 Children's Communication on Earth**
連絡先 事務局 / 〒981-3213 仙台市泉区南中山1丁目24-5
Tel 022-376-5382 e-mail nra55237@nifty.com

ラオスの子ども達によるホームステイプログラムのための資金調達を目的として、左記の様に「CCEわくわくチャリティバザール」を開催しました。バザーコーナー、喫茶コーナー、ミニコンサートを行いました。

CCE青年部の村上千紗都さんによる“ファゴット”演奏では、柔らかい音色に会場が包まれ、和やかな雰囲気となりました。あまり馴染みのない楽器“ファゴット”を知る機会ともなりました。

当日は、会員の皆さんを中心に集まって下さり、日頃なかなか会えない方々との楽しいひと時ともなりました。

<ミニコンサートプログラム>

エーデルワイス

大きな古時計

海に見える街

アメイジング・グレイス

見上げてごらん夜の星を

遠き山に日は落ちて

活動資金確保のためのチャリティバザー

活動資金調達のための様々なチャリティバザーの際には、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

- ・野菜 佐藤さん（栗原市一迫）の自然農法野菜 大根、ほうれん草、など
- ・りんご 南三陸町入谷の阿部さんのりんご
- ・甘夏みかん 熊本のおいしい無農薬甘夏みかん
- ・とうふバザー（木綿豆腐、ざる豆腐、厚揚げ、がんも） 月二回 第2、第4土曜日
- ・米 大友さん（大崎市田尻）のひとめぼれ100% 毎月下旬
- ・花バザー パンジー、ビオラなど 3月中旬から

購入して下さる方を募集しています。定期購入の方、大歓迎です。仙台市近郊の方は配達します。又、遠方の方には宅配便で送ることもできます。新鮮で安心安全、何よりも美味しいものを皆さんに届けながら、資金調達活動を行っていきたくと考えています。

バザーの収益金は、会の運営費として活用させて頂いています。厳しい経済状況ではありますが、アジアの子ども達の継続交流のために、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

尚、バザー用品の提供や、チャリティイベントのアイデアなどありましたら、是非事務局までお知らせ下さい。

CCEオリジナルはがき、カード バザール

以前、会員の皆さんにご協力頂いておりましたCCEオリジナルはがき、カードの在庫販売を行います。はがき1枚150円 カード1枚200円です。子ども達が描いたすてきな作品のはがきとカードです。是非、ご協力をお願い致します。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

会費納入について

平成30年度会費（年間3,000円）未納の方は納入下さいます様お願い申し上げます。近年、未納の方が多く会の運営が大変厳しい状況です。皆様のご協力をお願い申し上げます。（事務局より）

<振込み先> ・七十七(シチジュウシチ)銀行 将監(ショウゲン)支店
普通口座 5229006 地球の子ども通信 代表 芳賀節子



発行／ 地球の子ども通信(CCE)
発行日／ 平成 30 年 2 月 15 日
発行人／ 芳 賀 節 子
事務局／ 〒981-3213 仙台市泉区南中山1丁目 24-5
Tel Fax : 022-376-5382
E-mail : nra55237@nifty.com
URL : <http://www.cce-sendai.jp/>
